

第三者割当増資による資金調達実施のお知らせ

マイキャン・テクノロジーズ株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役：宮崎 和雄）は、リアルテックファンド3号投資事業有限責任組合（無限責任組合員：合同会社リアルテックジャパン、東京都港区、代表業務執行役：永田 暁彦）、島津ダイアグノスティクス株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長執行役員：小野 徳哉）、藤森工業株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：布山 英士）を割当先とした合計2億円の第三者割当増資を実施いたしました。

現在、動物愛護並びに再生医療等製品など新規モダリティの品質管理等の面から、従来のウサギ発熱性物質試験の代替法として、ヒト単球細胞株等を使用した発熱性物質試験（MAT 試験）が注目されています。

当社は、独自の不死化血球細胞作製技術を活用し、発熱性物質試験に特化した不死化単球細胞(aMylc 細胞)の作製に成功しました。当社は、本細胞を使用した新規発熱性物質試験製品(MylcMAT)の開発を、国内並びに欧州で進めています。

当社は今回の資金調達を活用し、事業会社と共に MylcMAT の安定供給体制並びに流通・販売体制を準備し、早期の供給開始を目指します。当社はまた、不死化ミエロイド系細胞(Mylc 細胞)並びにウイルス感染症研究で培った、単球の微生物反応特性を活用した本 MylcMAT の提供を通じ、医薬品・ワクチン開発を支援してまいります。

なお、MAT 試験についての認知度向上のために、「動物実験の代替だけじゃない単球活性化試験(MAT)」と題し、ウェビナーを8月24日17:00-18:00に実施します。

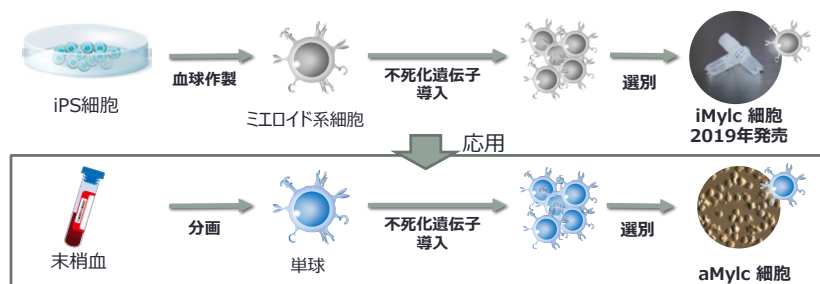
登録 URL: <https://www.micantechnologies.com/jp-mylcmat-webinar>

■ aMylc 細胞について

当社は再生医療技術を用いて、2019年にヒトiPS細胞由来不死化ミエロイド系細胞(iMylc細胞)の開発に成功しました(ミエロイド系細胞とは、単球、マクロファージ、樹状細胞などが含まれる白血球の1つ)。不死化技術により、従来大量入手が難しいミエロイド系細胞を、安定的・継続的に供給することが可能です。

当社では本技術を活用し、新たに不死化単球細胞(aMylc)の開発に成功しました。このaMylc細胞は、ヒト単球細胞に極めて近く、また末梢血単核球(PBMC)を使

用したトール様受容体(TLR)反応性比較においても、同程度のサイトカイン産性能を示します。



種類	直径	発現受容体			サイトカイン産生量	
	大きさ	LPS受容体	TLR受容体	CTL受容体	IL-6	IL-8
末梢血単核球 (PBMC)	15µm	○~◎	○	○	△~◎	△~◎
aMylc細胞	15-20µm	◎	○	○	◎	◎

■ MylcMAT について

今回、MAT (Monocyte Activation Test: ヒト単球活性化試験) 用に、微生物に対する反応性に優れた不死化単球細胞 (aMylc 細胞) を作製・選別しました。本 aMylc 細胞を使用し、新規 MAT 試験製品 (MylcMAT) として研究用に試験提供を開始しております。MAT 試験は、ウサギ発熱性物質試験の代替法として、世界で局方収載されてきています。既に欧州・インド等で収載された試験法であり、国内でも次回改正で MAT 試験の収載のに向けた動きがあります。



■ 当社について

当社は 2016 年の設立以来、独自の不死化血球作製技術を活用した研究用血球細胞 (Mpv, Mylc) の提供を通じ、治療薬・ワクチン開発を支援してきました。今後は、今まで以上により患者に近い製品も開発・提供したいと考えております。今回の MylcMAT 及び感染症の重症化を予測する検査キット (Mylc-ADE; 開発中) 事業を展開することで「感染症に怯えず暮らせる社会」実現にむけ、一層貢献をしていきます。

《本件に関するお問い合わせ》

マイキャン・テクノロジーズ株式会社

〒615-8245 京都府京都市西京区御陵大原 1-36 京大桂ベンチャープラザ

担当：伏原

【Tel】 075-381-3008 【E-mail】 info2@micanttechnologies.com

【URL】 <https://www.micanttechnologies.com/home-2>